

平標山・蓼科山 山行報告

【 山域 】 9/16 谷川連峰西端)、 9/18 八ヶ岳北西)

【参加者】 CL 室、SL 菊池、石橋、杉山、加藤 (記録)

【 日程 】 9/16 平標山登山口駐車場→林道→平標山の家→山頂→松手山→駐車場
9/18 七合目鳥居→将軍平→山頂→往路を戻る

【 記録 】 9/16 (第 1 日目)



台風18号の進路により山行を実施するか迷ったが、新潟方面は影響が少ないと予想し、車道に近くエスケープルートが取り易い平標山周回ルートに決定した。

冬(山スキー)ルートと異なり林道を奥まで、さらにS字カーブを進み、夏道ルートの登山口から入山する。樹林帯の登山道は霧が出て幻想的な光景となり、山小屋「平標山の家」の前に飛び出す。

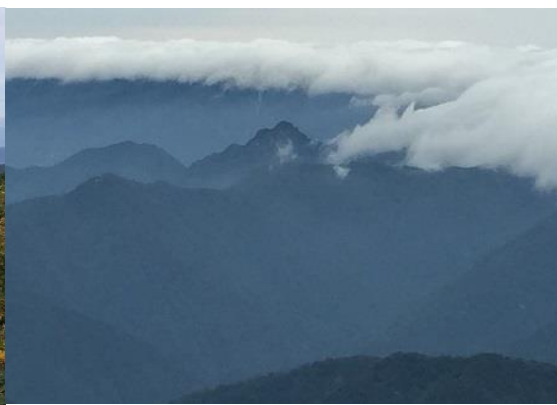




併設された避難小屋は快適で水も豊富にあり快適そうである。なだらかな草原の稜線を頂上に向かう途中、クロマメノキの実を賞味する。山頂で風を避けて小休止していると、霧の中にうっすらと苗場山が見えてきた。



暫らくすると、大源太方面、志賀高原方面の山々も雲海の上に姿を現した。山々の鞍部には霧の滝がナイヤガラの滝のように出現し、皆歓喜の声を上げた。松手山を過ぎ、巨大な鉄塔の下から苗場スキー場も臨まれ、駐車場に戻って来た。



今晚の宿泊地は越後湯沢の予約不要の「ゆざわ健康ランド」と決め、露天風呂、男女別の仮眠室もあり、素泊まり 2400 円で快適な夜を過ごした。

9/17 (第 2 日目)

天候悪化が予想されるため山行はなし。八ヶ岳北西部の白樺湖、女神湖方面にてのんびりと一日を過ごした。まず、白樺湖畔の「世界の影絵・きり絵・ガラス・オルゴール美術館」にて藤城清治の描く巨大なきり絵作品に感嘆する。さらにトリックアート美術館で童心に帰って遊んだ。美術館巡りの後は無料のキノコ汁を味わい、昼食は蕎麦処「水車小屋」にて蕎麦を頂いた。宿のチェックインまで時間があったため女神湖センターに立ち寄ったが、肝心の女神湖は雨模様で濃い霧の中にあり人影もなかった。

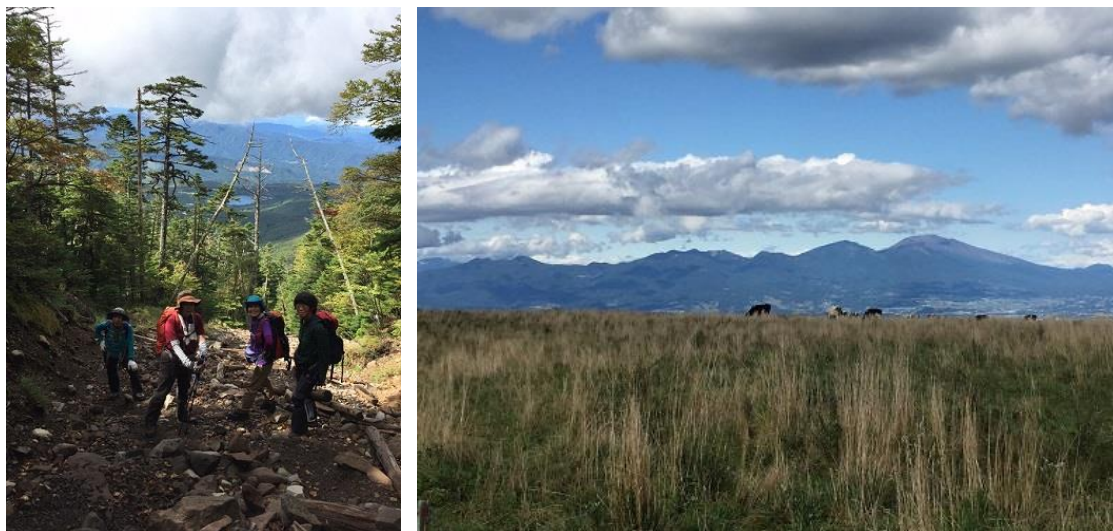


9/18 (第 3 日目)

蓼科山の北西側、御泉水自然園の上、七合目登山口の鳥居から入山する。台風一過とは言え、風は強く、山頂は霧で覆われていたが、山麓の女神湖は晴れていた。鳥居から緩やかな幅広い登山道を進む。見通しの利かない樹林帯であるが、肩に当たる將軍平から大岩がゴロゴロした急登となる。



蓼科山頂ヒュッテからすぐ近くに吹きさらしの丸い山頂があり、時折青空が覗くが、周辺の山々は霧の中で、寒くすぐに下山を開始する。將軍平の蓼科山荘からは佐久方面が見渡せるようになり、女神湖も眺められた。下山後は蓼科牧場に立ち寄り。牛乳、ソフトクリームを賞味し、帰葉した。



今回は非常にゆったりとした山行で優雅なひと時を過ごすことができ、計画してくれたCLにはとても感謝しています。